

清水町都市計画マスタープランアンケート
意見に対する町の考え方

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
1	管理されていない空き地や空き家が増えてきている。草が伸びたり、破損している建物もあり景観が悪く、危険と思う。町として対応が必要でないか。	空き家は個人の所有物になりますので、所有者に対応していただく事になります。ただし、衛生及び防犯上危険と判断される場合は、町から所有者へ連絡し、適正な対応を依頼しておりますが、緊急を要する場合は町で一時的な対応をしております。令和3年に清水町空家等対策計画を策定し、総合的な空き家対策を実施しております。今後、空き家を有効資産として流動化させ、住宅を必要としている人へ提供することも検討します。
2	フロイデの看板を撤去してほしい。	フロイデの看板については、本町所有のものではないので、町有地にあるものであっても所有者の意思に反して処分することはできません。一方、看板が急迫な危険状況にあると判断した場合は、緊急的に、本町において必要な範囲で撤去したケースもあります。当面は、看板の危険状況を定期的に確認しつつ、相手方へ管理意向の意思表示を求めていく考えであります。
3	国の問題であるが空き家を無くすには固定資産税の改革をしなければ解決しないと思う。	令和5年度に空き家等対策特例措置法が改正され、悪影響を及ぼす家屋が存在する場合、固定資産税の住宅用地特例(1/6等に減額)を除外する制度が出来、この制度を検討してまいります。
4	町の空き店舗について町としてどのように考えているのか？	商店街の活気と魅力向上のため、空き店舗の利活用、開業時のサポートやその後の支援体制の充実、事業継承に向けての支援が重要だと考えております。 既存の商工業者に加え、サテライトオフィス、コワーキングスペース、民泊等、新たな業種への支援を検討し、事業継承を含めながら商店街のにぎわいを創出していきたいと考えております。
5	若人が定住するために企業・町・学校との連携体制の充実が必要。	昨年度より、移住促進協議会に仕事部会を設置し、町内企業や農協、商工会と情報交換と雇用の斡旋を進めています。更に本年度より、求人情報サイトを作成し、町内の就職先、雇用条件等がリアルタイムにわかるようにする予定です。
6	移住者を増やすためには、町としての魅力が必要。大きな公園や道の駅のような集客できる施設があれば町に来る理由になると思う。	これまで行ってきた軽トラ市や農産物の直売所など、魅力ある地元産品を発信する拠点が必要だと思いますので、既存の社会資源を活用しながら町内消費の拡大を目指していきたいと考えております。
7	町に産婦人科がない。	現在、最も近い産婦人科は帯広市内ですが、町では妊婦健診における健診料無料化・交通費助成を実施するとともに、産後ケアや子育て支援などの施策を実施しており、今後も取り組んでまいります。
8	子ども医療無料化の助成制度が知られていない。	今後も広報、町公式HP等で制度の周知を行ってまいります。
9	電線を越えた樹木を、ただ上の枝を切り落としただけなので景観が悪くなった。	樹種によって上部を切り落とし枝を綺麗に整えられない場合もありますのでご理解いただきますようお願いいたします。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
10	町の木だからななかまだと思うが、桜や紅葉など名所につながるようなものの方が良いのではないか。	ナナカマドは主に幹線道路沿いに植樹していますが、今後の維持管理費もふまえ撤去等も検討しています。ご意見は参考にさせていただきます。
11	企業のゴミの出し方について改善するよう指導してほしい。	現状は把握しており、今後も継続して指導をまいります。
12	環境・エネルギーについて、町として積極的に取り組んでほしい。	令和3年10月に「ゼロカーボンシティ宣言」を公表し、2050年カーボンニュートラルを目指してまいります。そのため計画的に環境にやさしいまちづくりに取り組んでまいります。
13	まちの美化に努力がほしい。	美化活動は各町内会等の協力をいただきながら実施していますが、景観、衛生面からも関係機関と連携してまちの美化を進めていきます。
14	時期によって大量発生する虫の害虫駆除への補助がほしい。	町で随時害虫駆除を対応していますが、希望される方には殺虫剤と機材をお貸ししております。
15	国道2路線、高速道路インターチェンジもあり交通の面では好条件。道の駅、温泉、宿泊場、キャンプ場等の観光客を呼び込める施設の整備が必要ではないか。	道東の玄関口である地理的利点に加え、豊かな自然や食がまちの強みを活かし、観光地ではありませんが、通過されることが多かったため、今後は、滞在時間の長い観光を目指しています。最近では、民間のキャンプ場も増えておりますが、今後は既存の社会資源を活用し、宿泊や飲食、サービス等の消費が拡大することを目指し町全体をホテルにみたてた、「まちまるごとホテル」の取組をさらに進めていきたいと考えております。
16	イベントの告知や飲食店の紹介をSNSをもっと利用してみてもは。	観光協会では、ホームページやSNSによる発信に力を入れており、Instagramやフェイスブックのフォロワー数や、ホームページのアクセス数は増加しております。今後更に情報発信に力を入れていきたいと考えております。
17	集客のためイベントを増やしてみてもは。広告やパンフレット等で町外へ情報発信が必要。	イベントには、清水町の魅力（ブランド）を伝える情報発信と、来客者により地元経済を豊かにする二つの目的があると考えています。コロナ後、人々の消費行動に変化がみられますが、これらの目的を達成するために、時代に即応したイベントを適宜企画してまいりたいと考えており、本町の魅力を積極的に発信できるよう努力してまいります。
18	観光目的としてペケレベツ岳の登山道を整備してほしい。	日高山脈の国立公園化にむけて、現在、関係市町村で連携をすすめております。新たな登山客も見込まれることから、登山ボランティア団体と連携しながら、登山口、登山道の整備に努めてまいりたいと考えております。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
19	民泊利用時に路上駐車や他人の敷地に駐車するトラブルが懸念される。トラブルにならないよう対策が必要ではないか。	現在、民泊は、大きくわけて旅館業法と住宅宿泊事業法の許可を得ないと実施できない仕組みとなっており、所管する保健所や北海道に届け出、認可が必要となっております。近所とトラブルにならないよう、届け出無しのいわゆる違法民泊は固く禁じられております。仲介サイトに情報を掲載する際にも、駐車場の有無等、施設、設備関係を細かく明示する仕組みとなっているため、トラブルはおこりにくい仕組みとなっております。（ルール違反するとサイト登録できなくなります。）
20	これまでの企業誘致対策は内容のない見かけだけで、優遇措置がなくなると空き地、空き家になっている。	具体的にどこを指摘しているのか、わかりかねるので、個別の回答は差し控えますが、企業誘致に係る町の優遇措置は、大規模な企業であれば、企業立地促進条例に定められたルール、それらの対象にならない小規模な企業であれば、起業等スタートアップ支援事業で定められたルールに基づいて補助金を支出しています。当初の目的を達成できない時には、ルールに基づき、補助金の返還等をしていただきます。 今後も、清水町の雇用の創出、経済振興等、多角的な視点で企業誘致、起業支援等に努めてまいりたいと考えております。
21	国道沿いの学校は横断する時に危険のため、バイパス化し、歩車分離するのが良い。	道路のバイパス化は困難と考えております。日頃から児童・生徒に対して交通安全への指導を行っており、交通安全ルールを遵守し、警察と連携した交通安全環境を維持してまいります。
22	小中高の少年団活動が充実していないので、スポーツのNPOを作り促進を図ってほしい。清水・御影中学校の部活動が少ない。	本町のスポーツ少年団は、人口の多い帯広市や周辺町を除くと十勝管内では上位の団体数と人数です。スポーツ少年団はNPO法人清水町体育協会の加盟団体として、子どもたちのスポーツ活動を促進しており町の支援も引き続き行います。中学校の部活動は、現在のところ教職員が各競技の監督・コーチを担っています。生徒数の減少に伴い教員数も減っていることから他の部活動の要望があっても教員を配置することができない現状にあります。
23	居住地の近くに太陽光発電設備ができ景観が悪くなった。開発の抑制をしてほしい。	景観や環境面から危惧する意見があることは認識しておりますが、法令による制限以外に本町独自に太陽光発電設備を制限する条例等は考えておりません。
24	駅前の花壇に花が植えられているが、他はないのでさみしい。	花いっぱい運動として、町内会及び個人に花購入助成を実施していますが、更に取組が広がる様検討してまいります。
25	何故マリーゴールドだけ等間隔で植えるのか。多年草や宿根草を加えて見せる部分もあって良いと思う。	花いっぱい運動として、町内会及び個人に花購入助成を実施していますが、花の種類については自発的に選択されております。このことから花の指定は難しいと考えております。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
26	町民全員に給付金を配ってほしい。	令和2年に特別定額給付金として国民一人当たり10万円を支給しておりますが、財源は国が負担しております。町独自の財源で町民全員に給付金を支給する考えはございません。
27	築年数が経過している公営住宅の空き家が増えているので家賃を値下げしたり、移住体験住宅に利用、解体等の対策が必要。古くなっても収入が増えると家賃があがる。古い公営住宅を建替えてほしい。空き家が増えると高齢者の除雪負担が増える。	家賃は公営住宅法に基づき入居者の収入により決定していますので古い住宅でも家賃が上がる場合があります。空き家は年々増えていく傾向にあり今後利用方法を含めて検討してまいります。老朽化した公営住宅は令和4年度から御影地区の西都団地を建替え、令和5年度から清和団地の一部解体を実施しています。また、新しく建設した団地は除雪などの負担を少なくなるような対策をしていますが、その他の団地は今後の課題と考えています。
28	人口減少に向けた施設や公営住宅の市街地への集約。わかば団地を建設後、清和団地の一部を建替えているが公営住宅の集約は考えているのか。一部団地を廃止した方が良い。	老朽化した清和団地の建替えは規模から全てを市街地に整備することは困難なため、一部をまちなか居住としてわかば団地へ移転建替えし、その後、清和団地で現地建替えしております。現在、清水地区で新規の団地整備計画はありませんが、今後は既存団地の集約について検討してまいります。
29	平屋の団地が空いているのに2階建ての団地しか募集していないと聞いた。古い平屋の団地は募集しないのか。	住宅の老朽度合いや設備状況等が良い住宅を中心に入居募集しております。古い住宅は入居希望者の意向と修繕費の費用対効果を勘案して募集を行っております。
30	遊具などの無い広くて平らな公園がない。	現状の各公園の利用状況などを踏まえ、施設や遊具の設置・更新、利用目的の方向性、公園の規模や数など、様々な視点から今後の整備方針を検討してまいります。
31	他町村の大きな公園で行くことが多いので、子どもが遊べる大きな公園を整備してほしい。	各公園の利用状況などを踏まえ、施設や遊具の設置・更新、利用目的の方向性、公園の規模や数など、様々な視点から今後の整備方針を検討してまいります。
32	公園の駐車場は広い方が良い。	今後の公園の整備方針に併せ、駐車場についても検討します。また、多くの来場者が見込まれるイベント等が開催される際には、臨時駐車場を設置することで対応します。
33	中央公園の更新した遊具は幼児対象で、小学生が楽しめるどころではなくなった。小学生も楽しめたり、他町から遊びに来るような特色のある公園を作ってほしい。夏の水遊び場がない。公園でボール遊びができないなら増やさなくて良い。	各公園の利用状況などを踏まえ、施設や遊具の設置・更新、利用目的の方向性、公園の規模や数など、様々な視点から今後の整備方針を検討してまいります。
34	公園の遊具が減っていたり使用できない遊具が多い。安全に遊べるよう遊具や柵の修理、更新をして欲しい。	
35	清水公園の階段が崩れていて危ない。	随時補修等の対応を行います。
36	清水公園を車イス利用者も一人で利用できるくらいバリアフリーにしてもらいたい。	現状、清水公園のトイレについては、スロープや身障者用トイレの設置がされています。今後の整備方針を検討するにあたって、利便性の向上について課題の一つとさせていただきます。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
37	清水公園は少し木が茂りすぎて閉塞感がある。	安全確保の観点や、今後の整備方針において支障となる部分については、剪定や伐採をしていくことを考えています。
38	公園草刈りの時に遊具の不具合に気付いて情報共有してほしい。ブランコ下の土が掘れて小さい子が乗れない。	安全にご利用いただける様に、状況に応じてかさ上げ等の対応を行います。
39	町中の公園にトイレがなく、幼児を遊ばせられない。	現状では、日の出公園・有明公園・御影公園・清水中央公園・清水公園にトイレが設置されております。すべての公園にトイレの設置を行うことは、費用面等を考慮すると難しい状況です。
40	子どもが屋内で遊べる場所が欲しい。	屋内遊戯場の新設は難しい状況です。現在は、平日の午前、午後に保健福祉センターや御影農村環境改善センターでげんきひろばを開催し、子どもたちのあそびの場を提供している他、老人研修センターでは土曜日を集いの場の大型遊具などで子どもを遊ばせることができます。新体育館建設では、子どもたちが体を動かして楽しく遊ぶことのできる設備を整えたいと計画しています。
41	整備、維持費がかからない公園が良いと思う。 （芝のみの公園等）これ以上公園を増やさず、1～2カ所にみんなが集まれる充実した公園整備してほしい。	各公園の利用状況などを踏まえ、施設や遊具の設置・更新、利用目的の方向性、公園の規模や数など、様々な視点から今後の整備方針を検討してまいります。
42	子育て中の保護者や保育園の意見を聞けば良いと思う。	整備方針の検討にあたっては、広く意見を取り入れられるようにしたいと思います。
43	公園の芝を定期的にかってほしい。	直営又は委託により、それぞれ定期的に各公園の草刈を実施しているところです。
44	子育て支援の充実により、町の魅力も変わってくるので公園等の整備は大事と思う。	現状の各公園の利用状況などを踏まえ、施設や遊具の設置・更新、利用目的の方向性、公園の規模や数など、様々な視点から今後の整備方針を検討してまいります。
45	中央公園にあるカリヨンの時計台を鳴るようにしてほしい。	施設老朽化による修繕点検の費用の増大などにより、現在はモニュメントとして管理をしている状況です。再開にあたっては、システム機器更新を含む施設の修繕費用が多額になることから、鳴らすことはできません。
46	有用な交通機関（路面電車、トロリーバス等）はたくさんある。	既存のコミュニティバス、買物銀行バスによる足の確保を行ってまいります。
47	JRの時間を増やすよう打診してほしい。	十勝清水駅の利用向上に向けた要請活動を引き続き行ってまいります。
48	十勝清水駅にエレベーターを設置してほしい。高齢者、妊婦、子連れ等の方が利用しづらい。	JR北海道の経営状況においては優先度は低く、町独自に改修費用を負担するとしても費用が多額となり実現は不可能であります。 国の支援について、引き続き要望してまいります。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
49	スポーツをする施設が全然ない。グラウンド小さいから誘致もできない。	町民の日頃のスポーツ活動が行えるよう体育館やパークゴルフ場、アイスリンクなどを整備しています。専用コートのないサッカーやソフトボールなどは、公園多目的広場を活用していきます。大きな大会の誘致は考えておりません。
50	公衆浴場は手すりが少なく、不安の声を良く聞く。安心してお風呂に入れよう改善してほしい。もう少し早く入れるよう時間を見直してほしい。	利用者様のご意見も反映させていただき施設の改修は随時実施しております。施設の利用時間を早める事については今後検討させていただきます。
51	若者が公衆浴場を使いにくい。サウナが入れない。陣取りされている。	多くの方がサウナを利用できる様、陣取り行為を発生した場合は止めて頂くよう指導してまいります。
52	公共施設は必要であるが、財政や年齢構成を考えると福祉・教育の方が重要。	財政状況を鑑み優先度を見極め計画的な公共施設整備に努めてまいります。
53	公共施設の情報が少なく、分からない。	公共施設を含む町の情報については、町ホームページなどで提供しております。
54	利用していない公共施設や公営住宅はそのままにせず解体した方がよい。	令和5年度から旧清和団地の解体工事が始まり今後も順次解体を予定しております。その他の利用していない公共施設も解体撤去を行ってまいります。
55	旧第1・第2保育所は今後どのようなになるのか。	旧第二保育所の建物についてはR4年度に解体工事を行い現在更地となつています。宅地分譲をすることを検討中であります。 旧第一保育所の建物についても解体撤去し、今後の利用方法を検討してまいります。
56	体育館の利用状況をWebで確認できるようにしてほしい。	体育館の利用状況は、指定管理者であるNPO法人清水町体育協会のWebでご確認いただけます。
57	新体育館の建設は普段使用している各団体、少年団にアンケートなどを取るべきだと思う。他の町村から利用者と呼べるような体育館を建設し、宿泊施設を併設するべきと思う。	新体育館は、本町のスポーツ団体等が安全にかつこれまで通り利用できる規模としており、基本設計の策定に際してはスポーツ少年団を含む体育館を利用している団体からご意見をいただきました。また、合宿等における宿泊施設の併設については、考えておりません。
58	図書館にエアコンを設置してほしい。夏場は30分も居られない。	図書館のエアコン設置は、早期に整備していきます。
59	町内を一周できるウォーキングやマラソンコースがほしい。	ウォーキングコースは清水町健康づくり推進協議会で設定したコースがありますのでご利用ください。マラソンコースは安全の面から整備や指定は困難と考えます。
60	カントリーサインのうちの顔が無表情なのでハーモニーカードの顔にするとかわいくて印象良くなりそう。	国道に設置されているカントリーサインについては、北海道開発局が管理する看板であることをご理解ください。
61	温泉施設がほしい。	町営の温泉施設を平成7年～平成20年まで運営していましたが、赤字経営により財政負担が増し、民間に売却したところであります。
62	公衆トイレの美化（塗り替え等）	公衆トイレの外壁が劣化しており、計画的に修繕を検討してまいります。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
63	さわやかプラザのWi-Fiが弱く使えないので強化してほしい。	保健福祉センターには施設全体の電波の広がりを考慮し、2か所のWi-Fiアクセスポイントを設けておりますが、さわやかプラザ内はアクセスポイントから距離があるため、電波が弱い状況となっております。 今後、アクセスポイントの増設について検討します。
64	老若男女問わず利用できる大型施設を作してほしい。	新たな施設を作ることは考えておりません。
65	新得プールに通っているのは清水町民だけ。他町村より後に作ったプールがあれば学校プールで何の魅力もない。将来、子どもがオリンピックにも出れない。もっとお金のかけ方を考えてほしい。	多様なスポーツ施設を町で整備するのは困難ですが、学校開放事業を活用して小学校プールを町民に無料で一般開放し、公共施設を効率的に運用していきます。
66	高齢者が歩道を利用せず、車道にはみ出して歩行している姿を多く見かる。危険なので歩道の整備や高齢者に対する呼びかけを行ってほしい。	警察と連携し対応してまいります。
67	民間アパートに入居していますが、管理費に町内会費が入っていると思うが広報が届かない。公共サービスの情報を入手したい。子育て中なので知りたいことがあり困っている。	広報紙については、毎月15日に発行し町内会長を通じ配布するとともに、役場庁舎、コンビニエンスストア、ハーモニープラザ、十勝清水駅、有沢呉服店に配置しておりますので、お持ち帰りください。 なお、町内会への加入の有無については、再度管理会社へご確認ください。
68	清水町は子育て世代に住みやすい町なのでその部分をもっとアピールできれば人口も増える可能性がある。保育料、医療費、がからなかったり、出産、不妊治療にも様々な手当てがある。色々な人にSNS等を利用して清水町の魅力を知って欲しい。	本町の取り組みをご理解いただきありがとうございます。清水町を好きと言っただけで大変嬉しいですが、発信力が不足していることは承知しております。有効なPRの方法を探ることは優先して取り組む事項だと考えています。今後も、子育てしやすい環境の充実を図ってまいります。
69	清水町の子どもが大学進学、就職で町外に出てしまう人が多い。就職して戻りたいと思わせるような環境が必要。	若い世代が地元で定住するためには、子育て支援策をはじめとする福祉や教育支援に加え、受け皿となる雇用や新規就業支援、起業支援を更に進めていく必要があります。昨年度より、移住促進協議会に仕事部会を設置し、町内企業や農協、商工会と情報交換と雇用の斡旋を進めています。更に本年度より、求人情報サイトを作成し、町内の就職先、雇用条件等がリアルタイムにわかるようにする予定です。
70	福祉も大切だが、もっと企業を元気にする施策を行わなければ雇用も人口も減る一方で、町も衰退してしまう。	新型コロナ及び物価高騰に係る経済対策として、運営資金や設備資金が不足しないための中小企業近代化資金の特例貸付制度や愛町購買を推進するためのプレミアム付き商品券発行支援等、更に、起業等スタートアップ支援等、商工振興費を増額し、商工事業者支援を進めています。今後も、経済状況に配慮しながら適切な施策を展開していく考えです。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
71	関連する施設をまち中に集約し、国道沿いは店舗や企業等の利用を促進を重視するべき。観光客を呼び込むための市街地整備は最終戦課題ではない。	市街地整備及び土地利用については、関係機関と十分に協議し総合的に判断してまいります。
72	借家の1Lは空き家が多い。家族で住める住宅を増やしてほしい。	公営住宅に比べて民間借家は家族向けの住宅が少ないため、町では2LDK上の賃貸住宅の建設やリフォームに補助金を交付しております。今後は、更に増えてくる空き家が流通できるように空き家バンクを充実させたいと考えております。
73	コンビニや遊べる場所（遊興施設）を増やしてほしい。	本町には、複数のコンビニエンスストアがあります。地域によっては、遠いところもあるかもしれませんが、出店者の経営戦略もあると思いますので、出店の相談があった際には適切な支援をしてみたいと考えております。 遊べる場所がほしいとの指摘は、具体的に何を指しているのかわかりかねますが、一般的に遊園地や映画館などは、人口集積地にサービスが集中することから、十勝管内であれば、帯広市にその機能が集中していることをご理解願います。
74	駅前本通りの歩道幅は駅前の景観、商店街への利用促進を想定して歩道幅も広く計画したと思うが、車を店舗前に止めて買い物する人が多いため車道幅が狭く感じる。	当時は、歩道を広くし、商店街を周遊する機能を強めたいとの思いから歩道を拡幅してほしいとの要望があり現在の駅前景観ができました。現在のところ駅前通りを新たに整備する予定はありませんが、今後、空き店舗跡地等の有効活用の一つとして駐車場の確保等、時代に合わせた整備をすすめていきたいと考えております。
75	商工会で販売しているプレミアム商品券が利用しやすくなるような魅力的な商店街をつくってほしい。	プレミアム商品券は、年々、利用者が増加しておりますが、参加店舗を増やすなど今後においても、利用しやすい環境を商工会と共に整えていきたいと考えております。また、東地域、西地域の集会所には週に2回ですが生協の移動販売車による販売もございますので、ご利用いただきたいと思っております。
76	自宅前を除雪した後に、町道の除雪で塞がれることがある。特に高齢者は硬い雪や重い雪は大変なので何としてほしい。	毎年多くの苦情が寄せられている住宅前の間口に置かれていく雪につきましても、限られた時間内で車道の確保を行わなければならないため、全ての道路上の雪を取り除くことはできません。道路の雪を両端に寄せていく現在の方式では、住宅や車庫前に雪を残していくこととなりますが、決して悪意のあるものではありませんのでご理解をお願いいたします。 なお、高齢者世帯に関しましては、一定の条件はありますが「高齢者等在宅福祉サービス事業による除雪サービス」の対象となる場合がありますので、ご相談いただければと思います。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
77	通学路の交差点に雪が高く積まれて危険。大雪の時は通学時間に歩道が除雪されていない。	<p>除雪作業については、限られた時間内で車道の確保を行わなければならない、全ての雪を取り除くことはできないため、歩道や交差点の角に雪を残していくこととなります。状況に応じた排雪作業や、歩道の除雪ができない通学路については重点的に車道の拡幅を行うことで、安全確保に努めてまいります。</p> <p>また、除雪作業については、できる限り迅速に対応するよう心がけておりますが、天候や道路状況等により作業に遅れが出てしまう場合がありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
78	除雪の仕方が悪いので指導してほしい。地区によって差がある。	<p>毎年、除雪シーズン後に問題点や課題について除雪業者と意見交換を行い、シーズンを前に実施する除雪会議で改善方法を協議したうえで、除雪業務を実施しています。</p> <p>近年は、一度に大量の除雪や湿った重い雪が降るなど、気象の状況に変化が生じ、対応に苦慮しているところではありますが、除雪業者との連携を強化し、よりよい除雪体制が構築できるよう努めてまいります。</p>
79	除雪が入る時は防災無線でお知らせしてほしい。	<p>除雪出動のお知らせに関しては、夜中に急遽出動が決まることもあることから、防災無線のみならず、様々な情報発信ツールの活用と発信体制を検討してまいります。</p>
80	空き地、空き家前の歩道に固い雪が積まれて通れない。	<p>道路構造上、幅の狭い歩道については、全ての路線を除雪することはできず、車道の拡幅作業や、状況によっては排雪作業を行うことで対応しております。</p> <p>また、私有地に積もった雪を歩道や車道に捨てることは危険なため、指定された雪捨て場へ捨てるようお願いいたします。</p>
81	凍結防止剤の影響で車の足回りが腐食が激しい。腐食に気づかず走ると危険。	<p>踏切付近や勾配のある交差点等の凍結によるスリップ事故防止のため、町では凍結防止剤等の散布を行っています。凍結防止剤は塩化物であるため、車両の腐食が発生することがありますが、事故防止の為ですのでご理解ください。</p> <p>また、シーズン前後に車両の点検を行うなど、交通安全にご協力いただきますようお願いいたします。</p>
82	線路付近の坂道が滑る。	<p>焼砂や凍結防止剤の散布により、スリップ事故の防止に努めてまいります。</p>
83	農道、団地内の除雪が遅い。大雪の時、昼まで来ない。	<p>できる限り迅速に対応するよう心がけておりますが、天候や道路状況等により作業に遅れが出てしまう場合があります。</p> <p>また、幹線道路やスクールバス路線から優先的に作業していくため、後回しになってしまう路線もありますが、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
84	北の方から駅へ行くのに跨線橋か遠回りしないと行けないので、行きやすくしてほしい。	<p>現状の道路網を変更することは不可能ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
85	ドラッグストア、コンビニ、ホームセンターは複数あるがスーパーは1店舗しかなくとても不便なので増やしてほしい。いちまる跡地を活用してほしい。過疎化につながる。	一昨年2月に食彩館、同年8月にいちまる清水店が閉店し、不便だと感じている町民が一定程度、存在するものと考えております。買い物弱者等住民の困りごとについて、できるだけ寄り添っていきたくと考えておりますが、同時に、この度のスーパーの閉店をはじめ、人口減少等に伴う市場経済の縮小を、行政サービスで全て補うのには限界があるのも事実だと考えております。スーパーだけではなく、商業環境は、様々な要因から、厳しさを増しておりますが、商業振興が、住民の利便性の向上につながるよう引き続き各種支援の充実を図ってまいりたいと考えております。いちまる跡地については、所有者が日本甜菜製糖（株）でございますので、お互いに情報共有し、有効活用の手法を模索してまいりたいと考えております。
86	学校周辺や交差点の街路樹が大きくなり安全確認がしづらい。	支障となる部分については枝の剪定や伐採等、必要な措置を行ってまいります。
87	道路の草刈りをもっと実施してほしい。交差点は見通しが悪い。商業地の歩道レンガは空き店舗前が雑草が生えているので景観が悪い。	現在の道路の草刈については、年2回（6月と9月）業者による路肩・法面部分の作業を実施している他、歩道上や交差点の支障となる雑草については、その都度直営で対応をしているところです。 今後も継続して作業を行っていくとともに、よりよい維持管理の方法や体制について検討してまいります。
88	町道のマンホールや橋の継ぎ目段差、歩道のデコボコ、ひび割れ等を修繕してほしい。	適宜補修等の対応を行ってまいります。一定程度の工事が必要な場合など、即時対応することが難しい部分もありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
89	カーブミラーを増やしてほしい。	必要と思われる箇所については順次設置してまいります。
90	国と北海道と協力して国道、道道の危険な場所を改善してほしい。	町内の国道・道道の支障部分については、適宜、各道路管理者へ情報を共有することで対応しております。今後も、引き続き協力して対応してまいります。
91	利用が少ない町道や橋を整備している。どのような基準で整備する順番を決めているのか。交通量の多い砂利道を舗装してほしい。	本町が管理する町道は634.4kmあり、舗装率は清水市街89.8%、御影市街85.7%、郊外59.5%、町内全体として64.7%となっています。市街地においては道路の改良によって住宅建設が見込まれる箇所や、簡易舗装はされているものの、凍結融解による路面の凹凸や排水が整備されていない路線を中心に計画的に実施しております。また、農村部においては、農業農村整備事業により農作業の効率化、収穫物の安定輸送等を目的に事業が進められています。 橋梁の補修については、5年に1度実施される法定点検によって「早期対策箇所」と判定された橋梁を計画的に修繕することにより、長寿命化を図っています。 今後においても、限られた予算の中で優先順を決めて進めてまいります。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
92	市街地の空き地は所有者と交渉し住宅地として誘導しコンパクトシティを目指すべき。	町が空き地の所有者と交渉することは出来ませんが町の空き地・空き家バンクへの登録を促し空き地が流通しやすくなるよう取り組んでまいります。
93	建設予定の体育館はコンパクトシティになるような建設地とするべき。	新体育館の建設予定地は、現在よりも市街中心地に近く学校や駅、住宅地から徒歩でアクセスしやすく、郊外からは車でもアクセスしやすい場所として選定しております。
94	都市計画決定されて長期未整備の道路、公園の目的と計画とおりに進まない理由は何か。	都市計画決定されている道路や公園は高度経済成長期における自動車交通の増加や人口増加による市街地拡大などを前提に計画決定しています。計画決定以降、順次整備を進めてきましたが、財政上の制約などから一部未整備となっております。
95	都市計画決定されて長期未整備の道路、公園は現状に合わせた計画に見直す必要がある。	急速に進む人口減少と少子高齢化などの社会経済状況の変化に踏まえて現状に合わせた計画に見直すよう検討してまいります。
96	人と話すのが苦手な母親が気軽に行ける場が無く孤独。	さまざまな悩みや困りごとの総合的相談を保健福祉課福祉係で受けており、気軽に相談いただけるよう相談窓口の周知をしてまいります。
97	農村部には非農家の高齢者がさらに点在することになるので、「まちづくり」としては、その辺の公共サービスが求められていくのではないか。	高齢者等見守り安心事業などの在宅福祉サービスを市街地・農村部を問わず実施しています。高齢化の進展に伴うニーズの変化に留意しながら施策の充実に取り組んでまいります。
98	町民が気軽に相談できる場所がほしい。	さまざまな悩みや困りごとの総合的相談を保健福祉課福祉係で受けており、気軽に相談いただけるよう相談窓口の周知をしてまいります。
99	ハザードマップは各家庭に郵送してほしい。気軽に手に入るようにスーパー、銀行、郵便局などに置いてほしい。	最新のハザードマップについては、R4年5月のしみず広報の発送の際に全戸配布済みであります。各家庭への送付や、銀行、郵便局への配置は現在のところ考えていませんが、HPへの掲載や、申し出いただければ総務課窓口で配布しております。
100	数年前の大水で被害が出た地域に役場や文化センター、病院があったため、対策が必要だと思う。	ソフト面の対策としては、R4年5月に最新のハザードマップが掲載された防災ガイドマップを全戸配布しています。今後は、町民に対して、ハザードマップを活用していただくなど防災意識の向上の取り組みを進めてまいります。
101	老人向け避難対策・訓練が大切なので町内会での活動を希望するが、コロナ騒動以来、町内会の活動が全くない状態。	防災訓練など防災意識を高める取り組みについては、新型コロナウイルス感染対策への対応によりしばらく実施を控えていたところではありますが、近年の台風や地震災害のリスクが高まっている状況もあり、令和4年度に3年ぶりに町民向けの防災研修会を行いました。災害に備えるため防災意識を高める取り組みは定期的に行う必要であるので、町民向けの防災訓練・防災研修会が定例化できるよう、徐々に進めてまいります。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
102	防災について、新たに作るのではなく、今あるものを利用することが大事だと思います。	今ある情報伝達手段（防災行政無線や登録制メール）やハザードマップを有効に活用できるようにしていくことが重要であると認識しております。
103	平成28年災害の濁流を知らない人が多数いる。対策も重要だが個人個人が関心を持てるよう周知することも重要だと思う。	訓練・防災研修会や過去の災害の周知に際しては、町民の興味や関心、理解を深めるような工夫も必要であると認識しております。災害から身を守るためには、行政による「公助」の取り組みだけでなく、自分の身は自分で守る「自助」や、近所の人と助け合う「共助」による取り組みが重要であり、このことから、町民や町内会・自主防災組織に向けた取り組みも重要であると認識しております。
104	減災につながる地域コミュニティの形成について、今は町内会も何とか維持しているが、高齢化や独居などが増えるこれからは、町内会に頼らない新しい方法を考える時が来ているのではないかな。	災害から身を守るためには、行政による「公助」の取り組みだけでなく、自分の身は自分で守る「自助」や、近所の人と助け合う「共助」による取り組みが重要であり、町内会は「共助」に相当するものであります。町内会（自主防災組織）においては、会員や担い手の状況により取り組みが困難な場合もありますが、引き続き重要な組織の1つであると認識しております。町内会に頼らない新しい方法については、一自治体だけでなく全国的に考える必要のある課題と考えております。 現状のところ本町としては明確な方法は思いつませんが、自助・公助の強化、町内会単位でなくても隣近所や知人同士の助け合いによる共助の強化などが考えられます。
105	災害時の情報伝達としてラジオ等が一軒一軒にあったら良い。	災害時の情報伝達手段の確保は重要と考えており、町内全世帯を対象とした戸別受信機の無償貸付のほか、清水町防災情報配信サービス（登録することにより、町内の気象情報、国民保護情報、避難関連情報などや緊急のお知らせを電子メールや電話、ファックスでお知らせをする）を実施しております。ラジオは各家庭で用意いたします。防災ガイドマップの非常用持出品のリストにも掲載されているので機会のあるごとに周知をまいります。
106	公共施設は災害時に大切な場所になるので、常にライフラインが途切れないような整備をすべき。	災害時のための事前準備として、避難所における備品等を計画的に整備しております。
107	防災無線のスピーカーがうるさい。火災時のサイレンもうるさい。他の町を見習ってほしい。	災害時には多様な情報伝達手段の確保が重要になっております。防災行政無線については戸別受信機の無償貸付を行っており、屋外スピーカーも引き続き重要な情報伝達手段と考えています。近年の国民保護の観点からも屋外スピーカーの重要性がますます高まっているので、ご理解いただきますようお願いいたします。
108	街灯が少ない。灯かりが暗い。住宅街や街灯のない道路に増やしてほしい。	街灯の増設は町内会等から要望いただき、現地確認後、必要に応じて設置しております。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
109	縁もゆかりもない人が永住するのは難しいので、清水に住んでいた若者たちが戻って来たいと思えるまちづくりが必要。	人口減少対策として、移住・定住施策を推進するとともに、町民の方が住み続けたいと思ふまちづくりを進めております。本町においては、様々なイベントや景観の良さなど魅力が沢山あると考えております。町ホームページや広報紙に加えてSNSについても最大限活用し、情報発信に努めたいと考えます。
110	少子、高齢化は避けられない。10年、20年先を考え施設の整備更新をしてやさしいまちづくりを考えてほしい。	人口減少は避けられないものと認識しております。まちづくりにおいては、安全・安心のまちづくりを基本に優先度を勘案して、将来に負担を強いらぬ取り組みを推進してまいります。
111	人口減少を食い止め、増加につながるまちづくりをするためには周辺自治体と連携、協力が必要。	十勝定住自立圏構想など広域連携で十勝全体の活性化に取り組んでおります。今後も引き続き連携して取り組んでまいります。
112	若者の意見やアイデアを積極的に意見でき、まちづくりに積極的に参加できるようにするべき。	第6期総合計画策定において無作為抽出により選ばれた方で住民協議会を設置するなど幅広く意見をいただく場を設けるよう努力してまいりました。今後も、様々な意見をいただくよう努めてまいります。
113	まちづくり協力隊や高校生などの若者を増やしたらもっと清水を知ってもらえる。	現在、地域おこし協力隊は年齢制限をせず募集しております。若者が協力隊を担っていただくことは新しい視点からまちづくりについて考えるきっかけとなることが期待できます。若い世代に注目されるよう情報発信に努めたいと思います。
114	町民の減少、少子高齢化は止められない。いまでも町内会に頼るのも無理があり、移住者が激増するわけではないので、身の丈にあったまちづくりをするべき。	人口減少は避けられないものと認識しております。まちづくりにおいては、安全・安心のまちづくりを基本に優先度を勘案して、将来に負担を強いらぬ取り組みを推進してまいります。
115	少子高齢化を前提にまちづくりを考えなければならない。コミュニー的（相互扶助）なものが大事で、年齢別なコミュニーが一緒になったり、老人クラブに入らない人でも集えたり、気軽に外出できるようにすれば良い。共同生活すると光熱費等が合理的になる。色々な意見を出し合い、聞くことが必要。	少子高齢化は避けられない課題であると認識しております。相互扶助の役割を果たす町内会活動や世代を超えた交流・参加・学びができる地域コミュニティーづくりへの支援を検討してまいります。
116	スーパーやドラッグストアは充実しているが、大きな施設や利用しやすい施設はは全て1時間以上かかる。子育て、住宅、教育などの支援がないと都市部に流れいく。	子育て世帯の負担軽減支援やマイホーム取得支援など町民の皆様が住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。また、支援策が皆様に伝わるよう情報発信を行ってまいります。
117	決められた中の予算なので、多くの人に喜んでもらえるまちづくりにしてほしい。	限られた財源を有効活用し、最大限の効果を生む取り組みを進めてまいります。
118	町民の意見を取り入れまちづくりすると、より良いものになる。	まちづくり基本条例に基づき広く情報を公開するとともに、町民の皆様の意見をいただくよう努力してまいります。

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
119	<p>①観光客を呼び込むために道の駅を整備するのは賛成できない。成功しているのは一握り。新しい施設は作るべきではない。</p> <p>②道の駅整備を希望する。国道2路線、高速道路インターチェンジがあり交通の要衝であるのに買い物や食事をする場所が少なくないので、道の駅のような施設があると素通りから休憩等の目的地となり町内経済の活性化が見込めるのではないかと。</p>	<p>本町は、高速道路のインターチェンジや国道を2本有するなどの地理的利点を活かし、魅力ある地元産品の販売をはじめとする情報発信拠点として「道の駅」を整備することが有効だとの考えから町長の公約に盛り込まれました。</p> <p>その後、関係機関と設置要件等についての協議や、設置、運営に興味を示す民間企業へのプレゼン、想定される地権者との協議等を進め、様々な可能性を探るとともに、視察や勉強会等を進めてまいりました。</p> <p>しかし、建築資材の高騰により建設事業費の見通しが不透明となり、年次計画を見直し、町全体の課題を解決するために、様々な施策に取り組んでいますが、大型ハード事業は、基本的に先送りしたいと考えております。</p> <p>道の駅をつくる際には、一般的に、全体構想に2年、事業計画、設計、工事等に1年、登録申請に1年を要し、完成まで最短で4年を要するとのことをお話を伺っております。</p> <p>今後におきましては、引き続き準備、研究を進めながら、財政的なこととあわせて、社会情勢を注視しながら、検討してまいりたいと考えております。</p>
120	<p>用途地域は計画立案時と情勢が変化しているので変更は必要と思うが、計画やルールを定めず各自自由に土地を使えるようになっては困る。</p>	<p>用途地域の見直しは過去に定めたものと現状が合わない、将来のため変更が必要となる場合はルールに基づいて修正してまいります。</p>
121	<p>町が主導したまちなかの少人数の住居を確保、推進しないと、帯広、芽室への流出は避けられない。</p>	<p>町民の皆様が住み続けたいと思うまちづくりを進めてまいります。</p>
122	<p>将来的に人口減少は仕方ないとしても、医療、福祉、鉄道機関を維持し、少しでも町の衰退を抑えるべき。</p>	<p>医療・福祉・交通の各種サービスについて、サービス低下を招かないよう関係機関と連携して取り組んでまいります。</p>
123	<p>財源が少なくなる中、インフラの取捨選択を強力に押し進めていくべき。</p>	<p>限られた財源を有効活用し、最大限の効果を生む取り組みを進めてまいります。</p>
124	<p>地場産の農産物直売所が必要。特にアスパラ祭りなどやるのに地元産が全然町内に販売されていない。</p>	<p>駅横のサツドラ店舗内にある店舗「三丁目広場」においては、地元産の新鮮野菜が購入できます。また、JA十勝清水町においても、例年11月上旬に秋野菜の即売会を開催していますので、是非、ご利用いただければと思います。</p>
125	<p>老人ばかりだけではなく、子ども、20～60代も大事にしてほしい。独身者、老人に力を入れても減るに決まっている。</p>	<p>子育て世帯の負担軽減やマイホーム取得支援、高齢者の方の移動支援など各世代を対象とした施策に取り組んでおります。今後も、各世代のニーズの把握に努めてまいります。</p>
126	<p>今は70代なので帯広方面へに買い物や通院は出来るが20年後を考えた時、住みやすいかと思うと厳しい。</p>	<p>高齢化社会を迎える中、買い物や通院などの移動手段の確保は重要であると考えおりますので、移動手段を確保してまいります。</p>

清水町都市計画マスタープランアンケート意見に対する町の考え方

No.	意見（要約）	町の考え方
127	アンケートの設問が多く理解が難しい内容とカタカナ言葉が使われているので分かりやすくしてほしい。	内容が解りにくい、設問が多いなどご指摘いただき申し訳ございません。今後、回答しやすい内容になるよう努めてまいります。
128	無記名アンケートでは特に意見しません。	一般的に無記名アンケートは回答がし易いと考えておりますが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
129	アンケートの結果を町民に知らせてほしい。	アンケート結果は町ホームページと役場1階まちづくり情報コーナーで公開いたします。